

2. 災害からいのちを守る避難行動

(1) 災害と被害の関係について

- ・自然災害は気象現象(台風)の外力が自然素因*の脆弱性に作用して発生します。
 - ・また、被害は災害が社会素因の脆弱性に作用して発生すると考えられています。
- ※自然素因:地形、河川 社会素因:人間、地勢、家屋、施設、耕作地など

(2) 被害を軽減する防災力を高める

- ① 防災力を高めるために、誘因である外力についての理解を深めることも必要です。

「最近の異常気象」でも聞いていただきましたが、地球温暖化により海面水温の上昇これに伴う水蒸気量の増加が見られ、気象現象(台風、梅雨前線)の外力(雨)の強化による記録的な大雨の出現が見られます。外力を強化する要因については、防災気象情報や注意報、警報などからキーワードに着目した読解力を身につけて早め早めの対応を考えましょう。

2. 災害からいのちを守る避難行動

(2) 被害を軽減する防災力を高める

- ② 平時には、素因である当該社会(自分も入っている)のもつ脆弱性を克服する防災力の向上に努めておきたいと思います。
- ・避難行動を起こすための判断において、平時からの備えとしてハザードマップを活用した事前準備に最適です。ハザードマップは、「災害予測地図」または「被害想定図」ともいわれ、地震、洪水、土砂災害、火山、噴火などの災害をもたらす自然現象について、想定される被害の種類、程度及び範囲などを示した地図のことです。
- とくに、お住まいの周辺の危険箇所や避難所、避難路、避難形態など、まず、自分(家族)の避難のタイミング、避難形態、避難形態に対応した場所と避難路をできたら歩いて見るとか実際に確かめることができると、いざというとき、あわてず避難行動がとれると思います。
- ③ 災害発生時には、自分の命、大切な人の命を守るために大難は小難、小難は無難にあわてず事にあたらせて頂いて神様に願って脆弱性を復元力にしてください。